

# 読んでもらえる 議会だよりづくりを



## 議会報等特別委員会が紙面づくりや議会情報の発信などを研修視察



### ■長野県塩尻市 40年前から議会だよりを発行

塩尻市の議会だよりは1970年4月からの発行で、市の中でも先駆的です。

4月の改選後、議会基本条例推進委員会を設置し、その中に議会改革の視点で「広報部会」を置き、「あったかい情報を届けたい」と、定例会翌月の15日には各世帯に届ける体制です。

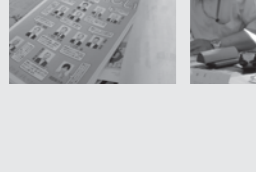
議会だよりに市民が登場する「市民の声」欄や、賛否が別れた場合、議員の賛否を一覧で示すことにも市民の支持が多いということでした。

### ■山梨県昭和町 住民と議会をつなぐ 「熱意と責任」

現在、各種コンクールで優秀な成績を収めている昭和町(※3)ですが、以前は「ただ発行すればよい」という意識で編集に当たっていたそうです。

平成19年度から取り組んでいる議会改革が契機となり、牽引役の当時の議長の意に応える形で、全委員が「強い責任感と熱意」をもち、議会広報の取り組みを活性化させました。

その大胆な編集姿勢には、私たち燕の委員も大いに触発されました。



#### 【用語解説】

※1 タブレットPC

平板状でタッチパネル入力可能なパーソナルコンピュータ。アップル社のiPadなどがある。

※2 全国市議会議長会

地方自治の本旨に沿い、都市の交流発展を図ることを目的に設立された。全国809市・区(786市、23区)の議会の議長をもって組織する。

※3 山梨県昭和町

昭和町は、山梨県議会広報町村の部において、平成21年度から2年続けて優勝し、平成21年度は、さらに全国町村議会広報コンクールで準優勝という成績を収めている。

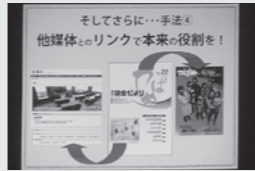


### ■(株)会議録センター 躍動感ある紙面とは

「見やすく読んでもらえる」紙面づくりを学ぶため、一昨年に続いての訪問です。

見やすさの基本である、適度な数と大きさで写真を使うこと、簡潔表現で文字数を減らすこと、見出しをパワーアップさせることをしっかりと学びましたが、燕市の議会だよりではページ数の限界も感じます。

このほかタブレットPC(※1)への議会だよりの配信や、議会のインターネット中継の紹介もありました。



### ■全国市議会議長会(※2) 議会だよりの「宝庫」

全国市議会議長会には、約100の自治体から議会だよりが提供されており、まさに「議会だよりの宝庫」といえます。

各議会だよりの内容はさまざまですが、用意された資料には、一般質問の追跡調査や、市民からの寄稿を掲載しているものもあり、大変興味深い取り組みの数々を見ることができました。

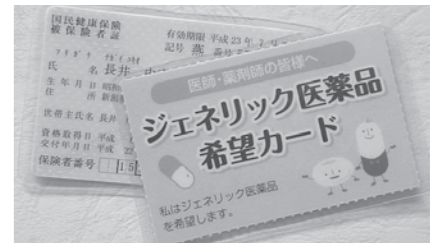
住民の議会への関心を高め、住民自治の発展に貢献するため、私たち委員会は、議会だよりをレベルアップしなければならないという思いを強く感じました。



お知らせしている。アンケートでは通知の受け取り希望は半数にのぼる。燕市には労災病院と県立吉田病院の2つの大病院があり、ジェネリック薬の利用率データや今後の取り組みなど、まずは訪問して懇談や意見交換をするところから始めてほしい。

額となる見込み。この薬剤費減額の要因のひとつとして、ジェネリック医薬品希望カードの効果があつたものと考えている。更新時に合わせての配布も検討したい。

医療費適正化の推進を始め予防医療等のさらなる充実を図っていきたい。国保証と一緒に配布されたジェネリック薬希望カード



長井 由喜雄 議員 日本共産党議員団  
ジェネリック薬希望カード配布で  
2400万円の調剤費削減効果

問① 昨年8月のジェネリック薬希望カード配付の効果について、数値として把握しているのか。保険者としてカード配付を実施している以上、効果を検証し、ジェネリック薬の目標数値も持ちながら調剤費用の効果的削減を図ることは重要でないか。国保証更新時に毎回希望カードを一緒に送ってほしい。

全国的には、新薬と後発薬であるジェネリック薬を使用した場合の差額を通知するサービスを行っているところもある。

効果的な取り組みで、実施を検討すべきでないか。大阪府寝屋川市では市のホームページでもジェネリック薬推進を呼び掛け、生活習慣病、脂質異常、高血圧、糖尿病で院外処方を受けている方6000件に薬価差額を

答① 調剤費については20年度と21年度の比較で9,400万円の増加、21年度と22年度の比較では2,400万円の減